

履修証明プログラム

履修証明プログラムは、社会人等の学生以外の者を対象とした特別の課程です。大分短期大学の教育・研究資源を活かし編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムで、総時間数 120 時間以上で設定されています。プログラムの修了者には、学校教育法に基づく「履修証明書」を交付します。

○開設予定の履修証明プログラム（平成 28 年度開設予定）

【ガーデンデザイナー養成コース】

ガーデンデザインと設計・施工に関する実習科目や演習科目でカリキュラムを編成しています。庭の平面図や立体図、デザイン画を中心としたガーデンデザインに関する高い専門知識と技術を修得します。

○受験資格

科目等履修生として受け入れます。次の 1)、2) いずれかに該当する方です。

- 1) 短期大大学への入学資格を有する者
- 2) 前項に準ずる学力があると学長が認めた者

○選考方法

面接、レポート

○入試日程

	願書受付期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
科目等履修生 入試 1 期	平成 27 年 10 月 1 日 (木) ~11 月 4 日 (水)	平成 27 年 11 月 5 日 (木)	平成 27 年 11 月 6 日 (金)	平成 27 年 11 月 20 日 (金)
科目等履修生 入試 2 期	平成 27 年 11 月 6 日 (金) ~12 月 16 日 (水)	平成 27 年 12 月 17 日 (木)	平成 27 年 12 月 18 日 (金)	平成 28 年 1 月 7 日 (木)
科目等履修生 入試 3 期	平成 27 年 12 月 18 日 (金) ~28 年 1 月 20 日 (水)	平成 28 年 1 月 21 日 (木)	平成 28 年 1 月 22 日 (金)	平成 28 年 2 月 5 日 (金)
科目等履修生 入試 4 期	平成 28 年 1 月 22 日 (金) ~2 月 17 日 (水)	平成 28 年 2 月 18 日 (木)	平成 28 年 2 月 19 日 (金)	平成 28 年 3 月 4 日 (金)
科目等履修生 入試 5 期	平成 28 年 2 月 19 日 (金) ~3 月 16 日 (水)	平成 28 年 3 月 17 日 (木)	平成 28 年 3 月 18 日 (金)	平成 28 年 3 月 28 日 (月)

※履修証明プログラム以外の科目等履修生も募集しています

○出願書類

- ・願書（本学指定のもの。お問い合わせ下さい）に写真 2 枚（縦 4cm×3cm）を貼って下さい。
- ・最終学校の卒業証明書、修了者は修了証明書または見込み書、文部科学省大学入学資格検定または高等学校卒業程度認定試験合格証明書

○出願手続

入学検定料 10,000 円（郵送の場合は郵便為替とし、出願書類に同封します）と出願書類を添えて本学入試係に提出します。郵送、窓口提出いずれでも可能です。郵送の場合、期限内必着です。窓口受付時間は9時～17時です（土曜日は9時～14時、日・祝日は不可）。

○受講料

57,000 円（入学検定料、教材・材料費は除く）

※ 教材・材料費に 20,000 円程度必要です。

○授業内容（履修科目）

1. ガーデンデザイン演習Ⅰ（1単位）・・・演習による授業（22.5時間）
開講期間：4月～9月の毎週火曜日3限目（13：00-14：30）
場所：本校舎
2. ガーデンデザイン演習Ⅱ（1単位）・・・演習による授業（22.5時間）
開講期間：10月～2月の毎週火曜日3限目（13：00-14：30）
場所：本校舎
3. 造園製図（1単位）・・・演習による授業（22.5時間）
開講期間：10月～2月の隔週金曜日3、4限目（13：00-16：10）
場所：本校舎
4. 園芸実験実習Ⅳ（造園専攻）（2単位）・・・実習による授業（45.0時間）
開講期間：10月～2月の毎週水曜日2、3限目（10：40-14：30）
場所：実験実習場（柞原実験実習場、滝尾実験実習場など）
5. 学外実習（インターンシップ）（1単位）・・・実習による授業（24.0時間）
開講期間：受け入れ企業（造園会社）と協議し決定。3日間以上
場所：受け入れ企業が指定したところ

※上記1～5の科目を全て履修し、全6単位（136.5時間）を取得した方に学校教育法の規定に基づき「履修証明書」を発行します。

※開講期間は、平成27年度のもので、時間割は変更になる場合があります。

※8月は夏休みのため授業はありません。

※受講期間は最長2年間です。

※授業の内容は別添のシラバス（講義要項）をご覧ください。

お問い合わせ、願書・資料請求

学校法人平松学園 大分短期大学入試係

TEL：097-535-0201（代）

E-mail：h-tandai@po.d-b.ne.jp

ガーデンデザイン演習 I 1単位 担当：井ノ口美知代

①授業の目標と到達方法

デザイン画での色の使い方をマスターし、次のステップで生かせる力を身につける。

②授業方法

実技演習

③授業を受けるにあたっての心構え・注意点・準備学習の内容

ガーデンデザイナー、ガーデンプランナーとしての技量を習得していく。

④効果の評価方法・基準

授業の取り組み、課題により評価する。

(評価の目安は受講態度が50%、課題が50%)

⑤教科書・参考書

特にはないが、配布する資料を手本、参考にして欲しい。

⑥授業計画 項目 授業内容・手法

着色技法ごとの実技演習： 平面図、パース画（透視図）

1. (実務家) ガイダンス 用具他の使い方の実技演習
2. (実務家) 色の着色体験 コピックスケッチの使い方
3. (実務家) 平面の着色法の実技演習：ペイブメント（舗装面）の着色、コンクリート、砂利、芝等
4. (実務家) 平面の着色法の実技演習：枕木、レンガ、敷石、ウッドデッキ、木材等
5. (実務家) 平面の着色法の実技演習：庭木の着色
6. (実務家) 平面の着色法の実技演習：草花、照明の着色
7. (実務家) 平面の着色法の実技演習：水、流れの着色
8. (実務家) 平面の着色法の実技演習：その他の着色
9. (実務家) パース図の着色実技演習：ペイブメント（舗装面）の着色、コンクリート、砂利、芝等
10. (実務家) パース図の着色実技演習：枕木、レンガ、敷石、ウッドデッキ、木材等
11. (実務家) パース図の着色実技演習：庭木の着色
12. (実務家) パース図の着色実技演習：草花、照明の着色
13. (実務家) パース図の着色実技演習：水、流れの着色
14. (実務家) パース図の着色実技演習：ハイライトの入れ方
15. (実務家) ガーデンデザイン演習 I の総括： 着色法の総括と総合評価

ガーデンデザイン演習Ⅱ 1単位 担当：井ノ口美知代

①授業の目標と到達方法

デザインの基本となる平面図の作成と小さな部分パースを描くための基礎を習得する。

②授業方法

実技演習

③授業を受けるにあたっての心構え・注意点・準備学習の内容

基本的寸法に基づく縮尺を理解しながら平面図、部分パースを描いていく。

④効果の評価方法・基準

授業の取り組み、課題により評価する。

(評価の目安は受講態度が50%、課題が50%)

⑤教科書・参考書

特にはないが、配布する資料を手本、参考にして欲しい。

⑥授業計画 項目 学習内容・手法

ガーデン構成素材の基本的寸法の説明と平面図・立面図の作成法についての実技演習。

1. (実務家) 製図用具の説明と線の引き方実技演習： 縮尺の選択
2. (実務家) 構成素材の基本的寸法の表記の実技演習
3. (実務家) コンセプト設定の仕方についての実技演習： 具体的事例を挙げて解説
4. (実務家) 現況図作成の仕方の実技演習
5. (実務家) ゾーニングの実技演習： 平面図作成実習
6. (実務家) ガーデン資材選択についての実技演習： 立面図作成実習
7. (実務家) 平面図・立面図の着色法の実技演習
8. (実務家) 描写による線画技法のトレースの実技演習
9. (実務家) 部分パースの基本的描写による線画技法の実技演習
10. (実務家) 部分パース作成の実技演習： フォーカルポイントの描き方実習
11. (実務家) 部分パース着色法の実技演習
12. (実務家) 部分パース作成の実技演習： 他の視点からのパース作成
13. (実務家) 部分パース着色と実技演習
14. (実務家) その他 着色解説と実技演習：
15. (実務家) ガーデンデザイン演習Ⅱの総括：平面図・立面図の作成についての実技演習総括と総合 評価

造園製図 1単位 担当：鍵和田又一

① 授業の目的と到達目標

造園では、設計図面、庭園の測量図面を作成することが多い。さらに、施主などに説明する際に、平面図や立面図などを描き空間の説明材料として作成することがある。そこで、各図面を作成するにあたり基本的な作図の方法を学ぶ。

② 授業の方法

講義と演習 数回の図面提出

講義終了時の定期試験 無

③ 授業を受けるにあたっての心構え・注意点・準備学習の内容

製図の技術を学ぶ必要があるので実技が多い。上達するには時間をかけてなれることも重要である。はじめは、時間がかかっても正確できれいな図面が描けるようにして欲しい。

④ 評価の方法・基準

受講態度、課題提出により評価する

(評価の目安は受講態度が50%、課題提出が50%)

⑤ 教科書・参考書

長尾勝馬 建築の透視図

日本造園学会 造園の製図規格

⑥ 授業計画 項目 学習内容・手法

1. 直線のひきかた 器具の使い方と線の太さ
2. 平行線と垂線のひきかた・線とスケール
3. 樹木の模型作り (樹体構築を学ぶ)
4. 植物・石材の平面表現
5. 針葉樹の立面表現
6. 落葉樹の立面表現
7. 常緑樹の立面表現
8. 石材 (景石) の立面表現
9. 石材 (灯籠・蹲) の立面表現
10. 庭の平面図
11. 一点透視の方法 I
12. 庭の透視図 (基本)
13. 前庭の設計①
14. 前庭の設計②
15. 前庭の設計③

園芸実験実習Ⅳ（造園専攻） 2単位 担当：鍵和田又一

①授業の目的と到達目標

緑地・樹林・樹木を用いて環境創造するための基礎的な知識・技術を習得すると共に、造園空間を創造するための設計及び施工技術の学習を目的とする。

②授業の方法

実習形式で行う。緑地・樹林・樹木を用いて環境創造するための基礎的な知識として樹木鑑定をし、実物をみて植物の名前を言ってもらおう。

③授業にあたっての心構え・注意点・準備学習の内容

- ・実習は定刻に開始し、作業の手順などの説明後、作業に入るので遅刻者は途中からの受講はできない。
- ・作業の安全性を考慮し、実習服・帽子、手袋、靴を必ず着用する。また、雨天時においては、雨具などは各自準備をすること。
- ・実習後のレポートは翌日の17時までに所定の場所に提出すること

④評価の方法・基準

実習課題レポート（60%）、授業態度（40%）

⑤教科書・参考書

社団法人日本造園組合連合会編「改定新版 造園施工必携」（教科書）

⑥授業計画 項目 学習内容・手法

1. 竹垣の製作①：竹の割り方、柱の建込などを学ぶ
2. 竹垣の製作②：胴縁の取り付け、立子のとりつけなど、結束の方法を学ぶ
3. 石組制作①：石組みの据え付け方法を学ぶ
4. 石組制作②：石組みの据え付け方法を学ぶ
5. 蹲踞制作：蹲踞の役石を理解し、据え方を学ぶ
6. 飛石制作：飛石の据え方を理解し据え方を学ぶ
7. 延段・敷石制作①：丁張をし、延段・敷石の据え方を学ぶ
8. 延段・敷石制作②：延段・敷石の据え方を学ぶ
9. 作庭図面検討会①：材料の確認、各自作庭図面の作成
10. 作庭図面検討会②：プレゼンテーションをし、施工作品の選出
11. 庭園制作：施工場所の整地作業、材料調達、土工
12. 庭園制作：垣根制作
13. 庭園制作：石組み、延段
14. 庭園制作：移植（根巻き）、植栽
15. 庭園制作：整地・清掃

学外実習（インターンシップ） 1単位 担当：受け入れ企業等（窓口：鍵和田）

①授業の目的と到達目標

主体的な職業選択や高い職業意識の育成を図り、自立心・責任感のある人材を育成し、知の産学交流を図ることを目的とする。

②授業の方法

生花店、園芸店、造園会社やその他の一般企業において実習する。ただし、履修証明プログラム「ガーデンデザイナー養成コース」受講者は造園会社とする。実習は原則、夏休みなどの休業中に実施し、期間は3日間以上とする。

講義終了時の試験 無

③授業を受けるにあたっての心構え・注意点・準備学習の内容

服装は、学生らしい清楚なものを着用すること。作業が伴う場合は作業着を着用する。就業については、実習先企業の就業規則を守り、遅刻・無断欠勤は厳に慎むこと。なお、実習期間中に病気や緊急の要件等で欠席をする場合は、必ず受け入れ担当者に連絡をとること。

④評価の方法・基準

実習日報、終了報告書、受け入れ企業等からの終了証明書（職能評価査定を含む）などにより評価する。

⑤教科書・参考書

⑥授業計画 項目 学習内容・手法

I. 事前研修

1. ガイダンス
2. 企業研修の手引き説明
3. 研修先企業の業態の説明
4. 社会人の基本心得等
5. 身だしなみの基本等
6. 職場のマナー等
7. 仕事の基本心得等
8. 来客対応の基本等
9. 電話対応の基本等
10. 職場の人間関係の基本等
11. 研修企業の概要と研修内容説明
12. 研修企業の業界研究
13. 研修内容の再チェック

II. 実施研修期間

1. (実地) 受け入れ企業等での実習（3日間以上）

III. 事後研修

1. 実習日報、実習終了報告書の提出
2. 実習報告会を実施する場合がある